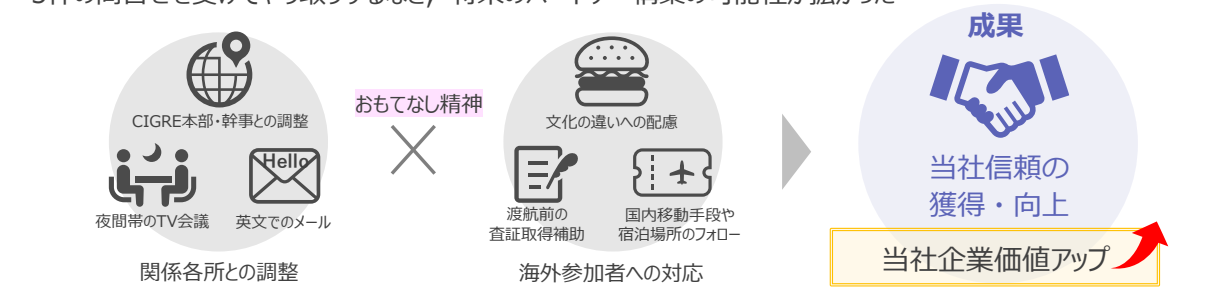
1. 当社信頼の獲得・向上

- 架空送電線の他，環境と技術性能に関する2分野との合同開催のため，国内外の本部・幹事と英語でのメールや夜間のWeb会議等により大会実施内容や運営方法等について綿密に調整し，準備を計画どおり進捗させた
- 海外参加者からの多数の問合せや要望には，**"おもてなし"の気持ちを念頭に置き，丁寧な対応を心掛けた**
- 経営層による安定供給に向けた当社大規模送電線新設プロジェクトの説明や歓迎のスピーチ，国内外要人との親密な交流をはじめ，事務局スタッフによる各イベント運営，支社・電力センターを含めた送電部門全体および他部門からの当日スタッフ対応など，当社1チームとして取り組むことにより，大会を成功裏に終えることができ，**当社信頼の獲得と向上に繋がった**
- 大会開催について電気新聞・河北新報・日刊工業新聞に取り上げられ，社外への企業イメージ向上に貢献した
- 事務局を継続する中で，海外から当社地中設備や変電の耐震設備の見学，当社開発の安全関係アプリ等，5件の問合せを受けてやり取りするなど，将来のパートナー構築の可能性が拡がった





2. 若手技術者・女性技術者の育成

- 英語力育成を含めた技術力向上のため，意欲的な若手社員を支社・電力センターより7名募集し，若手向けの活動を開始した
- 若手向け活動では，3年間で約20回の社外若手メンバーとの技術交流会や英語学習講座等の啓発活動を実施し，職場への海外技術の情報共有，社内送電部門論文発表会での海外事例の取り扱い，TOEICへの挑戦・点数アップなど，**若手社員に有益な機会を創出**した
- 多様性の観点から，女性ならではの課題を共有・解決する「女性技術者フォーラム」を企画・準備し，各国の女性技術者活動の紹介や経験豊富な技術者のキャリアに関する講演および意見交換を実施した
- 送電部門他の女性社員によるフォーラムへの参加や他社女性技術者との交流は，女性技術者同士のネットワーク構築，悩みの共有と安心感の醸成に繋がるとともに，女性の活躍シーンの幅広さを実感することで**業務に対する視野を広げ，今後の活躍を後押しする契機となった**



3. 部門内の技術力・英語力の向上

- 中堅・若手社員が海外との人脈形成に伴い収集した世界の最新技術動向を部門内に共有し，部門の研究開発案件調査・分析の推進，社内勉強会での議論の活性化など，支社・電力センターを含めた社員の技術力向上に資する成長のヒントを与えた
- 事務局スタッフが仙台大会開催に向けて業務外で計170回を超える英会話レッスン・プレゼン練習を実施し，英会話力向上に努める一方，CIGRE活動に刺激を受けた中堅・若手社員が更なる語学力向上に研鑽し，TOEIC CCM1級3名取得に加え，国際会議への参加・プレゼンが可能な国際感覚を身に付けた人材を10名程度育成した

4.直営対応による手作り感のある会議運営

- 大会準備段階から迅速かつ丁寧な対応を心掛けるため，可能な限り専門業者に頼らない手作りの運営をコンセプトとした
- ガラディナー時のアーティストの生演奏に合わせたアトラクション動画は，国内外の送電業界が共通して抱える困難や苦労，東北の復興を参加者同士で共有できる内容とし，社員が中心となり考案した演出が大会の満足度向上に寄与した
- 大会ガイドや動画など各種制作物の直営作成により，自由で独創的なデザインと臨機な対応を可能とし，外部発注に比べ約500万円のコスト低減を実現するとともに，**課題に真摯に取り組み自ら解決する直営対応力の強化**が図られた



送電各社より素材をいただき，社員自ら作成。動画構成や演出等細部までこだわった編集で，質の高さも相まり，ガラディナーでは送電工事の苦労に共感し感極まって涙ぐむ方も散見された
また，日本語の歌を英語にアレンジするとともに，映像編集や演出方法の試行錯誤によるきめ細かな準備で専門業者にも引けを取らない催しとなった。太鼓演舞の余興は社員有志に協力いただいた

内容（直営合理化分抜粋）	見積額	実績	直営化による低減
ロゴデザイン	150	30	△ 120
当社CM制作	1,500	450	△ 1,050
オープニング動画制作	500	0	△ 500
大会パンフレット制作	1,250	480	△ 770
ウェルカムパーティー	2,694	1,490	△ 1,204
ガラディナー	7,754	7,183	△ 571
ガラディナー動画制作	800	0	△ 800
合計（千円）	14,648	9,633	△ 5,015

CMやパンフ制作は最低限のみ外注。ディナー等の費用抑制に対応するため，レセプション会場のレイアウトやプログラム構成の考案や各種手配，設営等，可能なところは直営で対応した

5. 仙台・東北への地域貢献

- 国内外から計76名が参加する5つのツアー企画にあたり，社員が中心となって，場所の選定から多様な食事への配慮，スケジュールや旅のしおりの作成，訪問場所の歴史解説，不測の事態への対応検討といった多くの気遣いに尽力し，円滑な東北地域の理解浸透の一助とした
- 仙台・松島・平泉・会津・南相馬・いわき等，東北各地の工場見学・現場見学・観光において，精一杯**「より、そう、ちから。」を実践**し，参加者とそのご家族と厚い信頼を築くとともに，長年にわたる東北の震災復興への努力・奮闘について共感いただくなど，**東北のPRとファン増加に貢献した**
- 大会招致・実施にあたり，仙台市より助言やPR素材を提供いただき，仙台市と連携を密にし海外へ仙台をPRしたことで，インバウンド増と本大会の盛況を達成し，仙台市との関係をより強固にした
- 地元学生を論文発表会等へ招待し，「貴重な経験だった」と感想を得る等，地域連携が図られた
- 仙台大会のおもてなしについて，海外最要人から，「完璧に準備された大会・ツアーは長年訪れた中で最高だった。関係者全員に心からの感謝を伝えてほしい」との，満足感溢れる言葉をいただいた

